

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		美術		グループ名		学年	
ねらい		・身の回りの形や色の特徴に気付き、自分なりの表現に合った材料を選ぶ技能を身に付ける。 ・道具の正しい使い方を知り、安全に使用する力を身につける。 ・表現を通じて自信を深め、自分で考えて制作する態度を養う。					
担当教員		○森川 あゆ美 趙 里愛 弘原海 伸也 窪谷 優孝 堀越 龍太郎 木津 秀章 青崎 晃司 中村 海 後藤 紗希 中島 優子 高島 恵里 小林 多恵子					
予定授業時数		71.1					
使用教科書		さ・え・ら書房「たのしいこうさくきょうしつ1」					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
通 年	美術に関する鑑賞	○	<鑑賞> ・外国の作品を鑑賞する。 ・友達の作品を鑑賞する。	・日本や外国の美術作品を鑑賞し、多様な芸術文化を知る。 ・他者の発表を見て、違いや良いところに気付くことができる。 ・友達の作品の良さを感じ、制作意欲を高めることができる。	・作品のよさが分かりやすいように提示の仕方を工夫する。 ・生徒の関心に合うビデオ教材を準備する。		
	画材や道具の使い方を知ろう		・画材の特徴を知る。 ・道具の使い方を知る。 ・画材の使い方を制作しながら学ぶ。	・道具の使い方を知り正しく使用することができる。 ・制作に適した道具を選択することができる。 ・制作活動に意欲的に取り組むことができる。	・様々な画材や道具を準備し、試せるようにする。		
4 5	観察してを描こう		<絵画> ・描くものの色や形などの特徴をよく見る。 ・観察したものを絵で表現する。	・形や色などの特徴を観察することができる。 ・特徴をとらえて描くことができる。 ・働く人や関わるものに興味をもって意欲的に描くことができる。	・事前に塗り絵などを体験し、見通しがもてるようにする。 ・写真やイラストなどを提示する。		
6	季節を表現しよう		<絵画・工作> ・季節に合った色を知ることができる。 ・季節の飾りを知り、作ることができる。	・季節に合った色を知ることができる。 ・自然のイメージから受ける印象を表現することができる。 ・季節をイメージして、意欲的に制作することができる。	・季節の行事の写真を用意し、興味・関心をもてるようにする。 ・手順表や見本などを用意する。		
7	版画で表現しよう		<版画> ・バレンやローラーなどの道具の使い方を理解して表現する。	・ローラーやバレンの使い方を知る。 ・描きたい線から道具を選択できる。 ・自己表現を工夫することができる。	・生徒が興味をもてるような画材や道具を準備する。		
9	粘土で作ろう		<彫塑> ・粘土の感触を知る。 ・粘土をちぎる、伸ばす、丸める等の操作を組み合わせる等作品を作る。	・粘土の肌触りを感じ、感触を知る。 ・粘土を伸ばしたり、丸めたり、混ぜ合わせたりして形を変化させることができる。 ・表現方法を工夫して制作活動に取り組むことができる。	・生徒の実態に合わせて自助具やガイドを使用する。		
10 11	学習発表会の準備をしよう		<立体表現・デザイン> ・背景、大道具、小道具の制作 ・ポスター制作 ・展示、準備、片付け	・学習発表会で使用する道具を知る。 ・適切な道具を選び、制作ができる。 ・制作活動を通して、発表会に期待感をもつことができる。	・発表会のイメージがもてるように過去の動画や写真を提示する。		
12 1	コマ撮りアニメを作ろう	○	<立体表現・デザイン> ・カメラを使用した表現を知る。	・自由な発想でカメラを使うことができる。 ・友達と協力してコマ撮りができる。	・コマ撮りアプリを活用する。 ・手順表を用意し、適宜確認を促す。		
2 3	いろいろな色で表現しよう		<色彩> ・色の種類や特性を知る。 ・混色して色を作る。	・好みの色を選ぶ。 ・色を混ぜて別の色を作ることができる。	・選択できるように画材を準備する。 ・実際にやって見せる。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。